

2022年(令和4年)北海道花紀行



序章

新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、日本でも猛威を振るったため、10年以上続けてきた北海道の花旅を控えていましたが、今年3年ぶりで再開することが出来ました。今回は2週間しか時間が取れないので、花の多い大雪山系を中心に歩く計画を立てました。計画をしたのが、旭岳、黒岳、赤岳、富良野岳などです。特に何回も登っている旭岳は、山頂から間宮岳へ行って、裾合平へ回るコースをまだ歩いていないので、今回はぜひ歩きたいと思いました。

幸いにも旭岳に登った8日は快晴でした。エゾコザクラやキバナシャクナゲが一面に咲く裾合平は期待以上の素晴らしいコースで、初めて歩く裾合平を十分楽しむことが出来ました。

翌9日以降は天候が不安定になり、天気予報では以後一週間は曇りか雨だという。

10日は赤岳に登ったのですが、まさに雨の中を歩くことになりました。

当天気の回復が期待できないので、急ぎよ今年の花旅を切り上げて帰宅の途につきました。

3年ぶりの北海道花紀行は天候不順により旭岳と赤岳の2座のみとなり残念な結果になりましたが、旭岳は快晴で沢山の花々に出会え、赤岳は雨のなかでしたが、キバナシオガマやリンネソウに久しぶりで出会え、コマクサ平では一面満開のコマクサが歓迎してくれて、内容的には充実した良い旅ができました。今年の旅は止む無く中断しましたので、来年は再度出直そうかと考えています。